



GENERAL RESEARCH

副業調査レポート

2018.06.19 tue



副業も本気で選ぶ時代！

調査データからわかる 9 割を占める「副業できない理由」と副業をしたい人の思いとは

2018 年現在、「働き方改革関連法案」の審議が盛んに行われ、その一部で副業を後押ししようとする動きも出てきました。

副業は自らの収入を底上げするとともに、新しいスキルを得ることができるきっかけにもなるなどメリットも多く、興味のある人の割合も 6 割を超えています。しかし実際に副業には手を出せないでいる人が多いことが調査によって分かりました。

今回は「副業」に関する詳細なリサーチの結果を基に、「副業における世間の認識と問題点」をお話したいと思います。副業をしたいけれどなかなかできないで悩んでいる人や少しでも副業に興味がある人は是非参考になさってください。

調査概要：副業に関する意識調査

調査日 2018 年 6 月 1 日 (金) ~ 2018 年 6 月 6 日 (水)

調査方法 インターネット調査

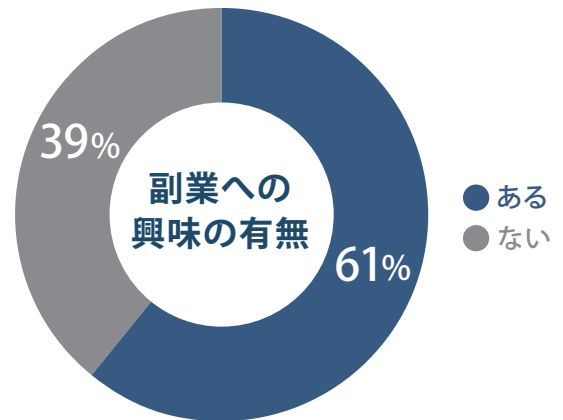
調査人数 1115 名

調査対象 全国 10 代後半 ~ 60 代前半の男女

調査主体 ゼネラルリサーチ

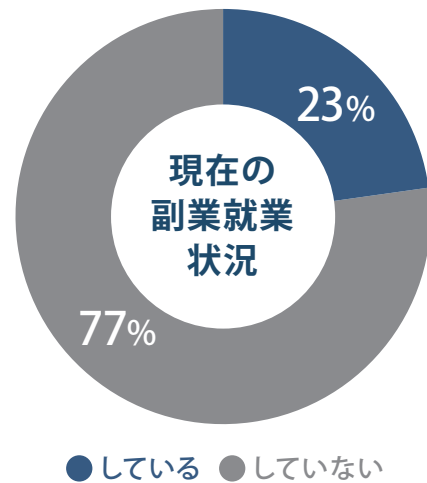
副業への興味・関心は高い傾向にある

情報社会である現代では、様々な方法でお金を稼ぐことができます。その中でもインターネットを使った副業が中心となりつつあります。スマホユーザーであれば自然とその情報を目にすることは多いでしょう。



インターネットを中心とした副業のメリットは何と言っても「時間の自由」が効き、「手軽」に始めることができる点にあります。

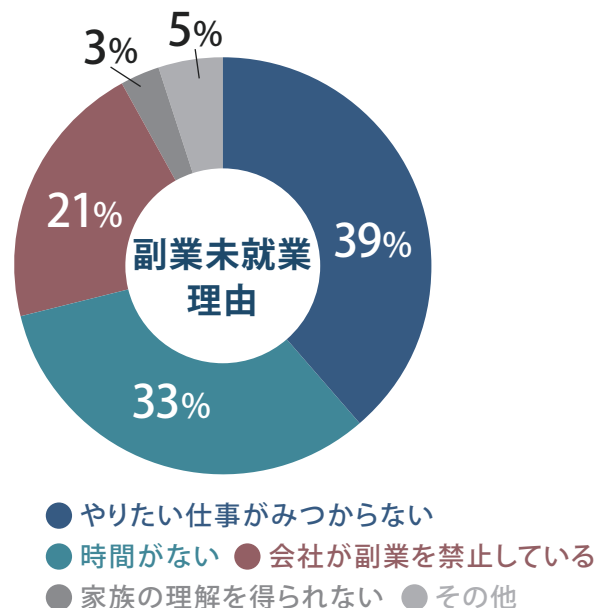
それであれば、多くの人の方がもっと副業をしているはずですが、実際には副業をしていない人の方が多いというデータがあります。



副業をしたくてもできない。 背景にあるのは・・・？

副業をしていない理由を調査した結果、右記のような理由が判明しました。

「やりたい仕事が見つからない」という回答が最も多くなっています。副業を始めることができずにいる人が多いのは「例え副業であっても本気でやりたいと思える仕事がない！」という考えが根強くあるからだったのです。



そもそも「やりたい仕事が見つからない」に次いで「時間がない」、「会社が副業を禁止している」と続きます。現在の副業はインターネットを利用したものが中心となり、比較的余裕をもって始めることができる一方、専門知識が必要となる仕事も多く、1から始めるのが大変だという背景があります。

そもそも本業が忙しく時間がない、会社が副業を禁止しているなど、働き方そのものを見直さなければならぬ社会問題が浮き彫りとなりました。

例えば時間が無くても、「本当にやりたい」と思える副業さえ見つければ、チャレンジしようと思う人の割合は増えるでしょう。

ゼネラルリサーチを利用して PDCA のサイクルを回す

第三者に自社の調査依頼をすることにより、客観的な意見や他社比較を知ることができます。それによって自社における改善点が浮き彫りになり、更なる発展に活かすことができるのは調査を行う大きなメリットです。

今回は調査した結果の一部のみのご紹介でしたが、他社との比較調査をすることにより実績をアピールできるので、ユーザーや顧客からの信頼度は格段に上がります。

これを機会にゼネラルリサーチを利用して、自社の現在の立ち位置を正確に把握し、より多くの人に求められるためには何が必要なのかを振り返る機会を作ってみてはいかがでしょうか。実際に調査を行い世間一般の傾向を知ること、今後「顧客」となり得る潜在層のニーズを引き出すことができ、新たな戦略を練るためのヒントを得ることができるかも知れません。

会社情報・お問い合わせ先

会社名：ゼネラルリサーチ株式会社

所在地：〒150-002 東京都渋谷区渋谷 2-12-8 アートビル 3F

事業：マーケティングリサーチ事業

お電話：03-6418-2803

メール：support@general-research.co.jp